

# 下館ロータリークラブ会報



SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2010~2011

RI会長 レイ・クリンギンスミス RI テーマ 地域を育み、大陸をつなぐ

/Building Communities—Bridging Continents

**パンダのように誰からも  
愛されるようになろう！**

例会日時/水曜日 12:30~13:30  
※欠席の場合は午前 10 時までに連絡願います  
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>

**本日のプログラム**

お祝い事・フリー

**次週のプログラム**

5月18日 50周年完結報告

2011年5月11日 第2208号 (2011/4/27 例会報告)

## 会長挨拶 小林一彦 会長

先週は4月の雑誌月間と言うことで「ロータリーの友」についてお話させていただきました。今日は4月が雑誌月間になった経緯及び「ロータリーの友」という名称の由来などについて話したいと思います。まず、4月が雑誌月間になった経緯ですが、RI 初代事務総長によって創刊された、公式機関紙「ザ・ナショナル・ロータリアン」誌が発行された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌期間としていました。しかし、1978-79年度から雑誌週間は4月に移され、1983年にRIの特別週間が全て特別月間となって、4月がロータリーの雑誌月間に指定されました。そして「ロータリーの友」の名称のようですが、1952年8月16日 岐阜長良井畔の大竹旅館で開かれた2回目の準備会で、岐阜RCの遠藤健三準備委員の案で「ロータリーの友」に決まりました。後日判ったことですが、雑誌「主婦の友」からヒントを得たとのことでした。「友」は1980年7月から公式地域雑誌に承認され、1991年には地域雑誌委員長会議で荣誉あるグランプリを受賞しています。

## 理事会・幹事報告 鈴木光則 幹事

**理事会報告**

1. 早川誠二会員の退会が承認されました。

**幹事報告**

1. 市民病院から義援金の礼状受理。
2. 薪能の中止のお知らせ受理。
3. ガール・スカウト育成総会のお知らせ受理。

## 出席報告 司代隆之 委員長

例会日	会員数	出席	欠席	病欠	免除
4/27	46	37	9	0	5

## メークアップ

・3月11日 水戸南ロータリークラブ 小林一彦・瀧田昌甫・新井和雄・百目鬼博行

## スマイルBOX 永井啓一 委員長

小林 一彦	鈴木清子様ようこそ。本日はお忙しいなか卓話ありがとうございます。楽しみにしています。	瀧田 昌甫	清子さん今年はネパールと一緒にいけなくて残念でした。卓話宜しく。
鈴木 光則	家内が卓話します。夢にも思いませんでした。	日向野 陽	二宮尊徳像が会社の敷地に建りました。手を合わせるのをいつも忘れず。

新井 雅勝	鈴木清子さんの卓話楽しみにしています。	新井 和雄	鈴木清子さんの卓話を楽しみにしています。早川さんの御栄転を祝しています。
奥沢 裕二	鈴木さん今人気のパンダリーリーとシェシェの生態系についての卓話楽しみにしています。	溝口 明洋	鈴木さんようこそおいで下さいました。本日の卓話楽しみにしています。
加藤 昌美	鈴木幹事令婦人のパンダの話楽しみです。早川さん会社の都合とは言い、退会残念です。今後の御活躍をご祈念申し上げます。	押田 浩	鈴木清子さんパンダの話し楽しみにしています。よろしく申し上げます。
大関 幸政	鈴木清子さんの卓話愉しみにして居ました。	神山 芳子	清子さんお久しぶりです。今日を楽しみにしていました。
関谷 徹	鈴木夫人の卓話楽しみにしています。早川さんご栄転おめでとうございます。	正根寺 幸雄	鈴木清子さん卓話楽しみにしています。
百目鬼 博行	鈴木幹事令夫人の卓話楽しみにしています。早川さん本社への御栄転おめでとうござります。	菌部 啓一	鈴木さんの卓話楽しみにしております。早川さんご栄転おめでとうござります。
早川 誠二	本日を持ちまして転勤により退会させていただきます。あまり役に立たない会員でしたが、皆様のご厚情に感謝申し上げます。下館RCのますますの発展をご祈念してお礼とさせていただきます。	永井 啓一	鈴木さんの卓話楽しみにしております。早川さんご栄転おめでとうござります。
		感謝と奉仕	星野英夫・大林稔
		<b>本日の合計 45,000 円 / 累計 1,396,000 円</b>	

## 外部卓話 パンダの話 鈴木清子様



### 「大熊猫パンダから学ぶ“選択と集中”」

今年2月21日に3年ぶりに日本にやってきたパンダ達。ユニークな毛色としぐさで子供達に大人気のぬいぐるみ動物。しかし、パンダはかわいいだけじゃない！実は200万年前の氷河期に、絶滅してゆく地球上の動物界の中で、生き残りを賭けた特異な進化により、今日まで生き残ってきた稀有な動物なのだ。それは正に動物界における『選択と集中』である。

危機的状況下でのパンダの選択と集中とは・・・

- ①他の動物が食料にしない【笹】を選んだこと・・・正にビジネスで言われるブルーオーシャン！笹を取り合って殺し合うこともない。しかも笹には防腐成分が含まれる優れたもの。
- ②大量の笹を必要とする彼等は、自ら進化の中で自分達の頭数制限を選択・・・パンダは1年の内たった3日しか発情しない。（後にこれが繁殖問題にもなってしまうのだが）
- ③強い子孫だけを残す・・・約1～2頭出産し強い方だけを育てる（これは集中しすぎ？）

そんなパンダにも思わぬ誤算があった。それは彼らの想定外の『地球温暖化』や『森林伐採』があった。これらは自然災害ではなく人的災害である。それらにより再び絶滅的危機を余儀なくされているが、彼らなら大丈夫。生き残れる。なぜなら彼等自身も気づいてはいないが、最も強力な生き残りの要素を持っているからだ。それは、『誰からも愛される』ということ・・・特異まれな姿態だけでなく無防備な程の濃厚な性格。そのおかげか、本国中国ではパンダ外交なるものまであり、上野動物園のパンダ達も年間7,800万円もの保護協力料を支払っての日本上陸である。現在、我日本も震災の影響で未曾有の危機的状況下にあるが、こんな時だからこそ発揮すべき『選択と集中』的知恵で必ず乗り越え、次世代へ見事に繋げていきたいものだ。そして、いかなる状況においても一番の幸せは『愛される』こと。こんな時代だからこそ人としての魅力が問われているのかもしれない。